

平成30年度事業報告について

1 主な文化財事業

(1) 古戦場公園再整備事業

概要：前年度は史跡長久手古戦場の保存活用計画を策定し、ガイダンス施設及び公園全体の基本設計を行っている。また、既存施設の耐震診断及び古戦場公園のボーリング調査を実施した。

ガイダンス施設への展示資料の収集として以下の資料を購入した。(別紙1)

- 本邦刀剣考(書籍)
- 姉川、小牧・長久手、長篠、三方原合戦絵図(地図)
- 加藤清正本多忠勝劇戦之図(絵画)
- 常山紀談(書籍)
- 四戦記聞(書籍)
- 尾張英傑画伝(書籍)

古戦場公園再整備事業キックオフパーティー(平成30年10月27日、28日開催)

概要：古戦場公園再整備事業をPRするため、イオンホールにおいて開催した。会場では学芸員の講演、火縄銃のハンズオン展示、警固祭りの衣装の試着、VR機器の体験を行った。(別紙2)

(2) 文化財補助等事業

前熊古典芸能保存会(前熊太鼓打ち囃子)

前熊の山車保存会(前熊山車曳き回し)

岩作オマント保存会(岩作警固祭り)

左義長報償金2地区(左義長 岩作壁ノ本、岩作長鶴)

(3) 古戦場桜まつり補助事業

長久手古戦場桜まつり実行委員会

概要：市民による実行委員会が主催し、平成30年4月8日に長久手古戦場桜まつりを開催した。実行委員会参加団体によるステージ発表、ブース出店、茶席、火縄銃の発砲、弓道大会を実施した。来場者は約8,000人。

(4) 文化財保存事業

①文化財古民家補修事業(別紙3)

概要：市内に現存する最古の古民家において、現状、建物に雨漏りや床が抜け落ちている箇所があるため、建物の傷みが進行しないよう応急的な修復等を実施する。所有者から建物の寄付が完了し、補修工事を進めていく。なお、本古民家は国の有形文化財登録を目指していく。

②古文書等燻蒸委託（平成 30 年 12 月 16 日、17 日）

概要：郷土資料室で保管している資料を燻蒸し、害虫を駆除した。

(5) 文化財啓発事業

市が洞小校区地域共生ステーション「ほとぎのさと展示室」

概要：市が洞小校区地域共生ステーションで丁子田 1 号窯、市ヶ洞 1 号窯から出土した刻銘須恵器（市指定文化財を含む）等を平成 29 年 11 月から展示している。4 月に展示替えを行い、ほとぎのさとの周知に努めている。

2 施設維持管理等業務（1 月末現在）

ア 古戦場公園内トイレ（3 か所）清掃業務

概要：市民の力を活かすまちづくりの取り組みとして、月 4 回市民に有償で依頼している。

イ 修繕

- ・ジオラマ設備修繕
- ・史跡めぐり用貸し出し自転車タイヤチューブ取替（1 台）

ウ 委託

- ・施設管理委託（シルバー人材センター）
- ・センターハウス警備委託
- ・清掃委託
- ・空調保守管理委託
- ・自動扉保守点検委託
- ・消防設備保守点検委託
- ・常設展示保守管理委託
- ・排水設備清掃業務委託

3 施設利用状況（1 月末現在）

別紙 4 のとおり

4 史跡めぐり自転車利用状況（2 月末現在）

50 台【月平均 4.2 台】（平成 29 年度 90 台月平均 7.5 台）

5 史跡案内状況（2 月 27 日現在）

17 件（350 人）

（平成 29 年度 26 件（1,407 人）（特別展ガイド 11 件 846 人を含む））